



鹿児島大学 (鹿児島県)



九州の南端で〈日本〉を学ぶ・〈日本〉を研究する基礎作りをしませんか！

◇大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

鹿児島大学は、九州最南端に位置する8学部、10研究科および留学生センターや多島圏研究センターなどの教育・研究施設を有する国立の総合大学です。鹿児島大学はその源をたどれば、18世紀までさかのぼることができますが、新制国立大学として発足したのは昭和24年です。はじめは文理、教育、農、水産の4学部からスタートしましたが、その後、医学部、工学部、各種大学院等を整備して今日に至っています。

文系学部は法文学部と教育学部があり、さまざまな分野の教員が在籍しています。教員の専門分野については、本学のURLを参考にして下さい。

2) 教員・学生数等

学部生 Undergraduate Students	9,368名
大学院生 Graduate Students	1,831名
教員 Teaching Staff	1,144名
職員 Administration Staff	1,300名

② 国際交流の実績

現在、学部学生9368名のうち留学生119名、大学院生1831名のうち留学生179名が在籍しています。日本語・日本文化研修留学生は、これまで6名以内という枠で受け入れてきました。

過去10年間の日本語・日本文化研修留学生の出身と専攻分野は以下の通りです。この中の何名かは研究生・大学院生などとして再来日し、学位を取得しています。

出身…アメリカ合衆国、インドネシア、オーストラリア、シンガポール、大韓民国、中国、ドイツ、ベトナム、ポーランド、モンゴル、ロシア、インドなど
専攻分野…日本語学、日本史、日本文学、政治学、経済学、社会言語学、日本文化論など。

大学間交流協定に基づく日研生の受入れ実績

毎年1名の大学推薦による日研究生を受け入れています。

③ 地域の特徴

鹿児島県は、日本の近代国家樹立に際して西欧文明輸入の玄関口となり、西郷隆盛をはじめとする偉大な貢献者を数多く輩出した土地として有名です。豊かな自然環境に恵まれ、南国特有の果実類や農産物・海産物も豊富です。



鹿児島市は人口約60万人を有し、地域の特性を生かして政治・経済に顕著な発展をみせる都市です。一方、古くはフランシスコ・ザビエルの来航、また藩政時代から海外貿易に力を注ぎ、幕末には国禁を犯してまで英国に留学生を送るなど海外交流の歴史は古くから続いています。

桜島を目の前に眺望できる鹿児島市は、東洋のナポリとうたわれイタリアのナポリ市を始め、オーストラリアのバース市、中国の長沙市、アメリカのマイアミ市と姉妹都市盟約を結んでいます。また、鹿児島県は、韓国の全羅北道、シンガポール、香港、アメリカのジョージア州、中国の江蘇省などと姉妹盟約を結び、親善交流が盛んに行われています。

気候も温暖で、年間を通して過ごしやすく、生活環境、勉学環境も整い、快適な留学生活を送ることができるでしょう。

◇コースの概要

1) 本プログラムでは次のような研修留学生を募集します。

- i 日本語能力(聞く・話す・読む・書く)をさらに伸ばしたい人。
- ii 日本文化や日本文学、日本社会、異文化コミュニケーションを中心に総合的に学びたい人。
- iii 鹿児島地域の文化、歴史に興味を持ち、研究テーマとして発展させたいと考えている人。
- iv 自分の卒業論文作成のために、テーマを探し、資料の収集を行い、論文指導を受けたい人。

2) 本学のコースは、このような研修留学生を対象に、その留学生の日本語能力に応じたきめ細かい指導を行っています。また、留学生の専門分野に応じて、指導教員が論文作成のための指導を行います。選択科目が豊富に用意されているので、留学生は自分の希望に沿った講義を受講することが可能です。

① 受入定員 6名以内

② コース期間

2009年10月1日～2010年9月30日

(授業期間: I 期 2009年10月1日～2010年3月31日

II 期 2010年4月1日～2010年9月30日)

③ コース形態

学部留学生向け科目と一般日本人学生向け科目を併用する。

④ 授業科目の概要

一年間にわたって研修留学生対象のプログラムを実施します。必修科目の日本語・日本事情科目のほかに、選択科目として、共通教育の講義や、研修留学生の専門分野に応じた学部の授業を受講します。

授業科目の概要と時間数は以下を見てください。また、選択科目の具体例は表1を見てください。

1) 必修科目

日本語Ⅰ 1単位(Ⅱ期30時間)

ニュース、インタビューなどの聴解教材を利用し、聴解力の育成に重点を置く。

日本語Ⅱ 1単位(Ⅱ期30時間)

プロジェクトワークを通じてインタビューや口頭発表を行い、話す力をさらに伸ばす。

日本語Ⅲ 1単位(Ⅰ期30時間)

大学生活の中で必要なスキルの中で、特に「話す」ことに重点を置く。レジュメを使った発表、ディスカッションの仕方、インタビューなどについて学ぶ。

日本語Ⅳ 1単位(Ⅰ期30時間)

レポート・小論文などの完成に必要な作文力(構文力・構成力)の習得と読解力の育成を目指す。

日本事情A 2単位(Ⅱ期30時間)

日本社会の様々な特質、本音と建前、集団の倫理の優先などを取り上げ、文献購読や討論を行う。

日本事情B 2単位(Ⅰ期30時間)

日本語と日本文化の基本的な事項、贈答の構造や以心伝心のコミュニケーション様式などを扱い、読解や訓練を行う。

日本事情C 2単位(Ⅱ期30時間)

日本の現代社会で生じている様々な問題について、テレビ番組、新聞、雑誌などの資料から分析し、考察する。

国際理解教育調査研究Ⅱ 2単位(Ⅰ期30時間)

「日本人学生と学ぶ鹿児島」というテーマのもと、日本人学生と留学生の合同グループで鹿児島について調査し、その結果を発表します。集中講義で行います。

2) 選択科目

10科目 2単位×10科目 *注 (300時間)

自分の専門分野に関する学習・研究のために、共通教育や所属する学部及び他の学部で開講されている授業科目について指導教員と相談の上、受講する科目を決めます。また、留学生センターで開講される科目を受講することもできます。授業科目の例は表2を見てください。

*注: 選択する科目によっては、1単位のものもあります。

選択科目の具体例

科目名	単位数	授業時間数	
		I期	II期
言語行動論Ⅱ	2	30	
異文化理解論	2	30	
日本語教授法概論	2		30
国語学概論	2		30
音声学概論	2		30
狂言の世界	2		30
日本受容論	2	30	
日本民族学	2	30	
日本文学	2	30	
現代社会を考える	2	30	
国際異文化交流	2	30	
日本史学	2		30

3) 修了要件単位数・時間数 **32単位 540時間**

⑤ 指導体制

1) プログラム実施委員

氏名(職名)	所属	専攻
大嶋 眞紀 (教授)	留学生センター	日本文化論
畝田谷 桂子 (准教授)	留学生センター	専門日本語教育
梅崎 光 (准教授)	教育学部	国語学(日本語の歴史)
中島 祥子 (准教授)	教育学部	日本語教育、異文化理解教育

2) 指導体制

研修留学生の専門分野に応じて、教育学部・法学部部の教員の中から指導教員を1名決定し、学習・研究上のアドバイスをを行っています。また、調査、文献検索などの小論文作成指導等を継続的に行い、随時個別指導も行います。生活面の指導については留学生センターとも連携しながら行います



⑥ 行事等

- 10月：秋期オリエンテーション
- 11月：インターナショナル・ナイト
- 2月：「日本人学生と学ぶ鹿児島」
- 3月：2泊研修旅行(京都・奈良)
卒業・修了懇談会
- 4月：春期オリエンテーション
- 6月：多国籍合宿
- 9月：ポスターセッション



⑦ コースの修了要件、修了証書の発行

留学の目的にそった小レポートを提出してください。希望者には修了証を発行するとともに、受講した科目については成績証明書を発行します。

⑧ 単位の認定、単位互換

受講登録を行った科目について、所定の成績を修めた場合には単位が認定され、成績証明書が発行されます。単位互換については、研修留学生の在籍する本国の大学が判断します。

⑨ 受講希望者の資格、条件等

次のa～bの条件を満たしている者が、このコースを受講できます。

- (a) 外国の大学に1年以上在籍し、日本語または日本の文化、文学、社会等に関する分野を主として学習している者。
- (b) 日本語能力試験の2級以上に合格または同等の能力を有する者。

◇ 宿 舎

・過去3年間の日研生の宿舎入居状況(各年度10月現在)

年度	人数	宿舎入居状況
2006年度	1名	国際交流会館へ入居
2007年度	1名	国際交流会館へ入居
2008年度	1名	国際交流会館へ入居

・鹿児島大学内の留学生用の宿舎

国際交流会館(郡元キャンパスから徒歩15分)

- ① 40室(单身室35 夫婦室3 家族室2)
- ② 36室(单身室30 夫婦室4 家族室2)



◇ 問い合わせ先

(担当部署)

鹿児島大学研究国際部国際事業課

住所: 〒890-8580

鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24

TEL:099-285-7325 FAX:099-285-7328

E-Mail: ryugaku2@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学ホームページ

URL: <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

鹿児島大学留学生センターホームページ

URL: <http://www.isc.kagoshima-u.ac.jp/>

